

第1-1表 主な死因の死亡数・率、全国順位

佐賀県

死 因 2)	死亡数				死亡率（人口10万対）			死亡割合（%）		全国順位（死亡率）	
	令和3年	令和2年	対前年 増減	対前年比 (R2年=100)	令和3年	令和2年	令和3年 全国	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
全 死 因	10 145	9 963	182	101.8	1 268.1	1 237.8	1 172.7	100.0	100.0	27	23
悪性新生物＜腫瘍＞	2 674	2 689	△ 15	99.4	334.3	334.1	310.7	26.4	27.0	19	19
心疾患（高血圧性を除く）	1 402	1 488	△ 86	94.2	175.3	184.9	174.8	13.8	14.9	38	21
老 衰	912	881	31	103.5	114.0	109.5	123.8	9.0	8.8	38	28
脳 血 管 疾 患	679	687	△ 8	98.8	84.9	85.4	85.2	6.7	6.9	34	34
肺 炎	693	711	△ 18	97.5	86.6	88.3	59.6	6.8	7.1	8	10
誤 嚥 性 肺 炎	422	353	69	119.5	52.8	43.9	40.3	4.2	3.5	9	10
不慮の事故	299	301	△ 2	99.3	37.4	37.4	31.2	2.9	3.0	23	22
腎 不 全	222	198	24	112.1	27.8	24.6	23.4	2.2	2.0	18	23
アルツハイマー病	192	168	24	114.3	24.0	20.9	18.7	1.9	1.7	21	24
血管性及び詳細不明の認知症	126	103	23	122.3	15.8	12.8	18.2	1.2	1.0	37	43

注： 1) 令和3年の数値は概数、令和2年の数値は確定数による。
 2) 令和2年の全国区における死亡率上位の死因を表章している。
 3) 「誤嚥性肺炎」は平成29年より死因順位に用いる分類項目に追加された。

第1-2表 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率

佐賀県

部位別	死亡数				死亡率（人口10万対）			死亡割合（%）			
	令和3年		令和2年		対前年 増減	対前年比 (R2年=100)	令和3年	令和2年	令和3年 全国	令和3年	令和2年
	死亡数	順位	死亡数	順位							
総 数	2 674		2 689		△ 15	99.4	334.3	334.1	310.7	100.0	100.0
口唇、口腔及び咽頭	70	12	46	14	24	152.2	8.8	5.7	6.5	2.6	1.7
食 道	70	12	62	13	8	112.9	8.8	7.7	8.9	2.6	2.3
胃	304	2	280	2	24	108.6	38.0	34.8	33.9	11.4	10.4
結 腸	238	4	259	3	△ 21	91.9	29.8	32.2	29.9	8.9	9.6
直腸S状結腸移行部及び直腸	87	10	98	8	△ 11	88.8	10.9	12.2	12.7	3.3	3.6
肝及び肝内胆管	229	5	242	4	△ 13	94.6	28.6	30.1	19.6	8.6	9.0
胆のう及びその他の胆道	124	6	139	6	△ 15	89.2	15.5	17.3	14.8	4.6	5.2
膵	276	3	237	5	39	116.5	34.5	29.4	31.4	10.3	8.8
気管、気管支及び肺	509	1	542	1	△ 33	93.9	63.6	67.3	62.1	19.0	20.2
乳 房	88	9	95	9	△ 7	92.6	11.0	11.8	12.1	3.3	3.5
子 宮 (1)	45	15	43	15	2	104.7	10.7	5.3	10.8	1.7	1.6
卵 巢 (1)	44	16	35	16	9	125.7	10.5	4.3	8.1	1.6	1.3
前 立 腺 (2)	90	7	107	7	△ 17	84.1	23.7	13.3	22.1	3.4	4.0
膀 胱	73	11	63	12	10	115.9	9.1	7.8	7.7	2.7	2.3
悪性リンパ腫	90	7	80	11	10	112.5	11.3	9.9	11.4	3.4	3.0
白 血 病	69	14	82	10	△ 13	84.1	8.6	10.2	7.4	2.6	3.0
〔再掲〕大腸	325	-	357	-	△ 32	91.0	40.7	44.4	42.6	12.2	13.3

注： 令和2年の数値は概数、令和元年の数値は確定数による。
 死亡割合は、端数処理の関係で合計と内訳の計が一致しない場合がある。
 (1)は女性の数値、(2)は男性の数値である。
 (3)「〔再掲〕大腸」は「結腸」と「直腸S状結腸移行部及び直腸」の合計を示す。